

ニュージーランド登山 山行記

2018 年 12 月 30 日（日）～ 2019 年 1 月 6 日（日）

リーダー：宮本、メンバー：ふじ、やまたくお、ハンブルクの星

2018 年 12 月 30 日

浜松を午前 10 時に出発し、大阪関西空港へ約 6 時間半かけて移動。同日午後 9 時のニュージーランド航空直行便で **Auckland**（オークランド）へ飛行。

12 月 31 日

午前 11 時半ごろ **Auckland** 空港に着陸。日本との時差は 4 時間。
入国時の厳しい税関審査により日本から持ち込んだ果物（みかん）と魚介類の食料品を残念ながら没収されてしまった。

この後、**Auckland** から国内便で **Christchurch**（クライストチャーチ）空港へ移動。午後 3 時ごろに着陸。到着後、レンタカーの契約、そしてガスボンベを購入すべく登山専門店他、数店を訪問するも、時刻はまだ午後 5 時ごろだが大みそかの当日は既に閉店の店が多く、やっと大型 DIY 店で購入できた。この後、スーパーで食材を確保。同市内にて投宿。



「ニュージーランド航空直行便で **Auckland**（オークランド）に着陸」

2019 年 1 月 1 日

この日は Christchurch (クライストチャーチ) から Arthur's Pass National Park (アーサーズ・パス国立公園) へ走行。高速道路並みの国道に沿ってサザンアルプスの素晴らしい山並みを眺望する。冠雪の峰々も遠望出来た。Arthur's Pass Village (アーサーズ・パス村) では Devils Punchbowl Waterfall (デビルス・パンチボール滝) へ往復 1 時間程度の行程を散策した。天気もよくて気持ちいいトレッキングだった。この後、車を更に北上して走らせてタスマン海に出て、ここから海岸沿いに南下しウエストランド/タイ・ポウティニ国立公園内の 2 つの氷河、Franz Josef Glacier(フランツ・ジョセフ氷河)と Fox Glacier (フォックス氷河)がある麓の町へ移動。翌日以降の Copland (コープランド) 山行の情報入手と山行準備をする。



「Arthur's Pass National Park (アーサーズ・パス国立公園) とサザンアルプス遠望」



「Devils Punchbowl Waterfall（デビルス・パンチボール滝）」

1月2日

今回のニュージーランドの山旅で最も楽しみにしていたのが片道約 20km（7 時間の行程）の Copland Track（コープランド登山）だったが、なんと当日は集中豪雨的な猛烈な大雨になってしまって、激しい濁流の Copland river（コープランド川）の渡渉が出来ず、ならば迂回して橋を渡れるかと思ったが、藪漕ぎをしながら川に沿って 1 時間ほど移動するも結局その橋も流されていた。登山口からほぼ同時に出発した現地ニュージーランド人の 6 人ほどのパーティーもリスクを避けて引き返してきたほどだった。身長 180～200cm ぐらいの彼らの胸まで水位が上がっていたとのこと。これではさすがに渡渉は無理。安全を重視して目的地への登山を断念せざるを得なかった。

結局この日は予約してあった目的地の Welcome Flat Hut（ウエルカムフラット山小屋）に行くことが出来なくなったので、当夜の宿泊先も確保できていない状況。急遽ホテルを観光案内所で探し、辛うじて確保できたのはここから約 200 km も離れた Hokitika(ホキティカ)という町のホテルになり、ルートも逆戻りとなったが止む無く移動した。



「Copland Track（コーブランド登山口）」



「激しい濁流の Copland river（コーブランド川）NZ パーティーも引き返してきた」

その夜、4人で協議して翌日はホキティカ郊外の Mt.Tuhua(トフア山、標高：1,127m)に日帰り登山することに決定。明日の天候回復を祈って就寝。

1月3日

ホテルから車で30分ほどで Mt.Tuhua の登山口に到着。この山の特徴は Lake Kanierie (カニーレ湖) 登山口から中腹まで急登が続き、菌朶類が茂る亜熱帯雨林の樹林帯。ニュージーランドにこんなジャングルのような地帯があるんだと不思議な感覚におそわれた。この日は生憎、山頂はガスっていたが、下山にかかるとガスがきれ始めてなんとか眺望を得られた。眼下には Lake Kanierie(カニーレ湖) や広大な平原が望め、眺めていると「あれー、どこかで見たことのある眺望だなあ」、そう、ここはあたかも「栃木・男体山山頂から望む中禅寺湖で向かいの半月山、平原は戦場ヶ原」と思えるくらいよく似た光景だった。下山の途中で今回苦労して購入したガスボンベを使用してのランチも楽しんだ。こうして Lake Kanierie の登山口から往復約7時間の行程を楽しめた。

登山道で出会った珍しい鳥、Weka (ウェカ)。国鳥のキーウィと同じく飛べない鳥。私のストックの柄を盛んに突っついていて。出くわしてほんの数分でどこかへ行ってしまった。ところでこの山はひょっとすると日本人初登頂だったかも？しれない。

下山後はこの近くの景勝地、Hokitika Gorge(ホキティカ渓谷)を散策した。渓谷は数日前の大雨で残念ながら本来のエメラルドグリーンの美しさではなかったが、素晴らしい光景だった。沿道の教会と牛の牧場ものどかでとてもよかった。散策後、翌日の氷河のヘリハイクの為、再度フ란ツ・ジョセフ氷河の麓の町へ200km移動し、投宿。



「歯朶類が茂る亜熱帯雨林のような樹林帯の中の登山道」



「Mt.Tuhua 山頂(トフア山、標高：1,127m) 山頂はガスっていた」



「チングルマのような高山植物」



「眼下の Lake Kanierie(カニーレ湖) 」



「Mt.Tuhua の登山口」

Mt.Tuhua Track コースタイム

登山口スタート 8:30 Outlook(展望所) 9:30～9:40 山頂 12:30～12:45

カニーレ湖の見える所で昼食 13:10～13:40 Outlook 15:00 登山口戻る 16:00

1月4日

フランツ・ジョセフ氷河の麓の町からフォックス氷河の麓の町へ移動。ここで 1/2 に事前予約しておいたフォックス氷河のヘリハイクを体験。ヘリハイクとは 10 分ほどヘリコプターで飛行後、氷河に着陸してプロのガイドの案内で 3 時間ほど氷河でのトレッキングをすること。フォックス氷河にはクレバスや滝もあり、楽しめた。トレッキング後、再度ヘリコプターで戻る。ヘリハイク後、車で Greymouth(グレーマウス市)へ移動。



「Fox Glacier (フォックス氷河)のヘリハイク」



「Fox Glacier (フォックス氷河) ガスで山頂部は見えない」

1 月 5 日

最終日は帰国に向けて Greymouth から Christchurch へ移動。Christchurch は「ガーデンシティ(庭の街)」と称される南島最大の都市、クライストチャーチ市内のど真ん中にある Hagley park ハーグレイ公園を散策。ここは日比谷公園の 15 倍の面積を誇る広大な公園、勿論 1 時間程度の散策では全部回れなかったが、中央の Avon river (エイボン川) でカヤックを楽しむニュージーランド人のスローライフ振りを見ると心が和んできた。公園内の植物園も浜松フラワーパークを想起せて良かった。この後、Christchurch 空港から国内便で Auckland 空港へ移動。



「Hagley park ハーグレイ公園の Avon river (エイボン川)」

1 月 6 日

Auckland 空港から関西空港へ移動。同日夕刻無事関西空港に帰着。

コメント：

8日間のニュージーランドの山旅はあっという間に終わってしまった。NZは日本とよく似た島国ではあるが、氷河がある3000m級の山々からタスマン海に面した西部地域では雨量も多く、温帯雨林がまるでジャングルのように生い茂った低山まで実に変化に富む自然豊かな国だった。今回リーダーとして全日程を企画し、実行力のあるMさんに感謝は勿論、パーティーのHさん、Fさんと過ごせた楽しい山行だった。雨天に泣かされたところもあったので、是非NZに再チャレンジしたいものだ。

文責：ハンブルクの星